

(別紙4)

事業所名 グループホームこころ黒羽

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 3 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	一人ひとりに合った本人優先の介護計画作成を心がけているが、その思いのほうが行き届いていない、ケースによっては空回りの感がないとはいえない。	職員の意見を取り入れ、介護計画作成者とともに十分に検討を踏まえた介護計画を作成し、モニタリングをおこなうようにする。	利用者1名に対し職員2名の担当者制を敷き、目標達成に向け、すでに実施している。担当者はリーダーとサブリーダーに分け、できるだけリーダーは夜勤も対応できる職員とし、相談窓口を主任以上の4名としている。	12ヶ月
2	33	すでに館内で2件の看取りを経験したが重度化や終末期に向けた支援についての体制作りが未熟であり、基盤がしっかりしていない。	今後、この施設において、ターミナルケアを具体的にを行うための体制づくりをする。	法律上の問題をクリアし、その他整えなくてはならない環境を具体化していくと同時に職員が対応できるよう勉強会を定期的に開催していく。場合により、社外講師の導入も視野に入れる。	12ヶ月
3	30	かかりつけ医の受診支援がスムーズに行かない時がある。	施設とかかりつけ医との関係をよりよいものにし情報共有をはかる。	かかりつけ医と定期的に利用者の情報交換する仕組みを作る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。